

ごみ問題

問 アンケート結果後の進め方は

答 広域化の枠組みは維持したい



小林英雄議員

【ごみ処理施設問題】

問

飯森への建設計画がアンケートではっきりと否定された。この結果から何を学んだのか、次に、今後どう進めていくつもりですか。

村長

正しい情報の発信と意見を冷静に聞く姿勢の大切さ、さらには、官民一体となった協働での村づくりの大切さを再認識したところです。今後は、議会や村民の意見を十分聞きながら、慎重かつ迅速に三市村で協議し、方針を定めていくことになりませんが、私としては、ごみ処理広域化の枠組みそのものは、

問

新ごみ処理施設建設計画について、提言を

らず、現有施設を可能な限り使用することにはどうで

引続き維持していくことが、望ましいと考えています。

します。



子育て支援の充実を

すか。

②行政職員と住民・専門家で構成する委員会を立ち上げ、新たな計画の立案を委ねてはどうですか。

③これらと並行して、官民協働で村のごみ半減をめざす具体的な取組みを始めてはどうですか。

村長

1番目の提案については、広域化でやること、望ましいと思っております。2番目の提案については、3市村で具体的な検討をしていないので、今後この提案を協議の中で提言していきたい。3番目の提案については、ごみの減量化に努めることは当然のことです。

【子育て支援の充実】

問

村に若者が定住しない理由の一つに子育て支援の遅れがあると思えます。第一に、小児医療費無料化補助の対象年齢を、せめて1〜2歳程度引き上げてはどうですか。

第二に、就学援助の現状を伺います。

村長

平成21年度の予算化には踏み切れなかったが、今後も慎重に検討していきたい。就学補助は、生活保護や生活保護に準ずる程度に生活が困窮している者に対し、学用品・通学用品・給食費等についての援助(小学生23人・中学生20人で、支給総額380万円)と、特別支援学級に就学する児童・生徒の家庭に対し、補助(小学生9人・中学生5人で、補助金総額56万円)をしています。それから、私立高校に就学している生徒の保護者に、生徒一人当たりの1万5千円の助成をしています。また、21年度から私立幼稚園に就園している園児の世帯の内、低所得世帯に対して奨励費補助制度を導入します。

問

群馬県の中学校での児童医療費無料化が報道されたが、村でも支援を厚くしていくべきだと思いますが、村長の考えを伺います。

村長

国の補助制度がないものについては、村で対応していきたいと考えています。